平成２１年　７月１７日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所　タービン油関連機器の点検に伴う原子炉停止について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力１１０万キロワット）は定格熱出力一定運転中のところ、タービン駆動原子炉給水ポンプ（Ａ）の制御用油フィルター差圧の上昇が継続していることが確認されたため、予備の電動機駆動原子炉給水ポンプに切り替えて点検を行うこととしました。

このため、７月１２日 14 時 00 分から電気出力を約９０万キロワットまで低下させる操作を開始し、その後、予備の電動機駆動原子炉給水ポンプに切り替え、同日、21 時 00 分に電気出力を元の状態に戻すとともに、当該フィルターの取替えを実施しました。

なお、当該フィルターの差圧が上昇した原因について調査してまいります。

この事象による外部への放射能の影響はありません。

（７月１３日お知らせ済み）

当該フィルターの差圧上昇に係る調査の結果、タービン駆動原子炉給水ポンプの制御油系統で使用されている油は、タービン駆動原子炉給水ポンプ軸受潤滑用と主タービン（タービン発電機）と共用の油であり、運転中に一部（全循環油量の概ね２．５％）を油清浄機に通すことで浄化していますが、油清浄機が処理可能な容量以上に劣化生成物が発生し、系統内にて増加が確認されました。このため、劣化生成物がフィルタに捕捉されて差圧を上昇させたものと考えています。

しかしながら、タービン油系統の油面の変動が発生しており、タービン油関連機器の故障についても否定できないことから、原子炉を停止して点検を行うこととしました。

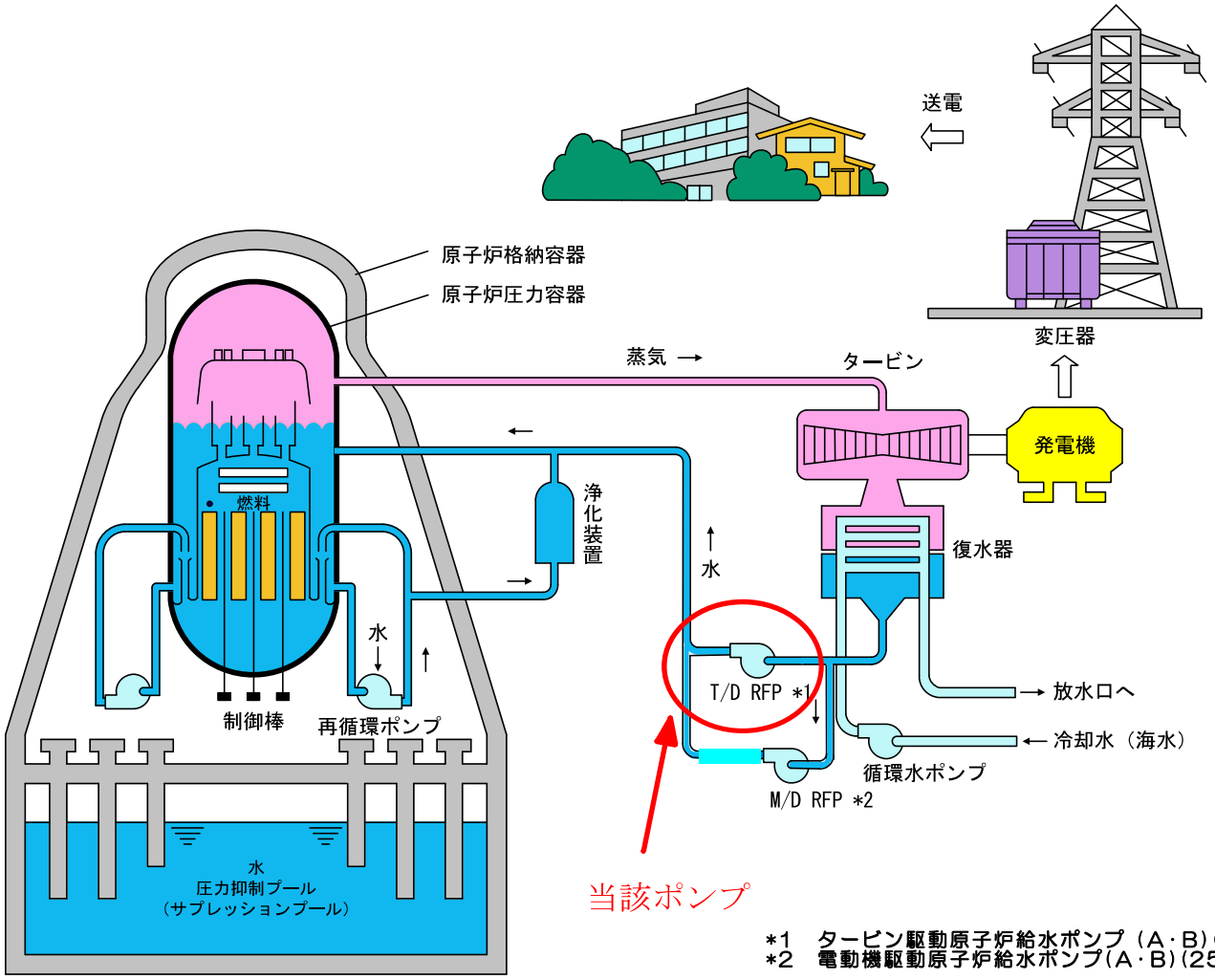
このため、７月１８日０時から原子炉停止操作を行いますのでお知らせいたします。

なお、本事象は、実用炉規則第１９条１７項第２号の報告事項に該当しております。

以　上

添付資料１　東海第二発電所　主要系統概略
添付資料２　タービン油 系統概略図

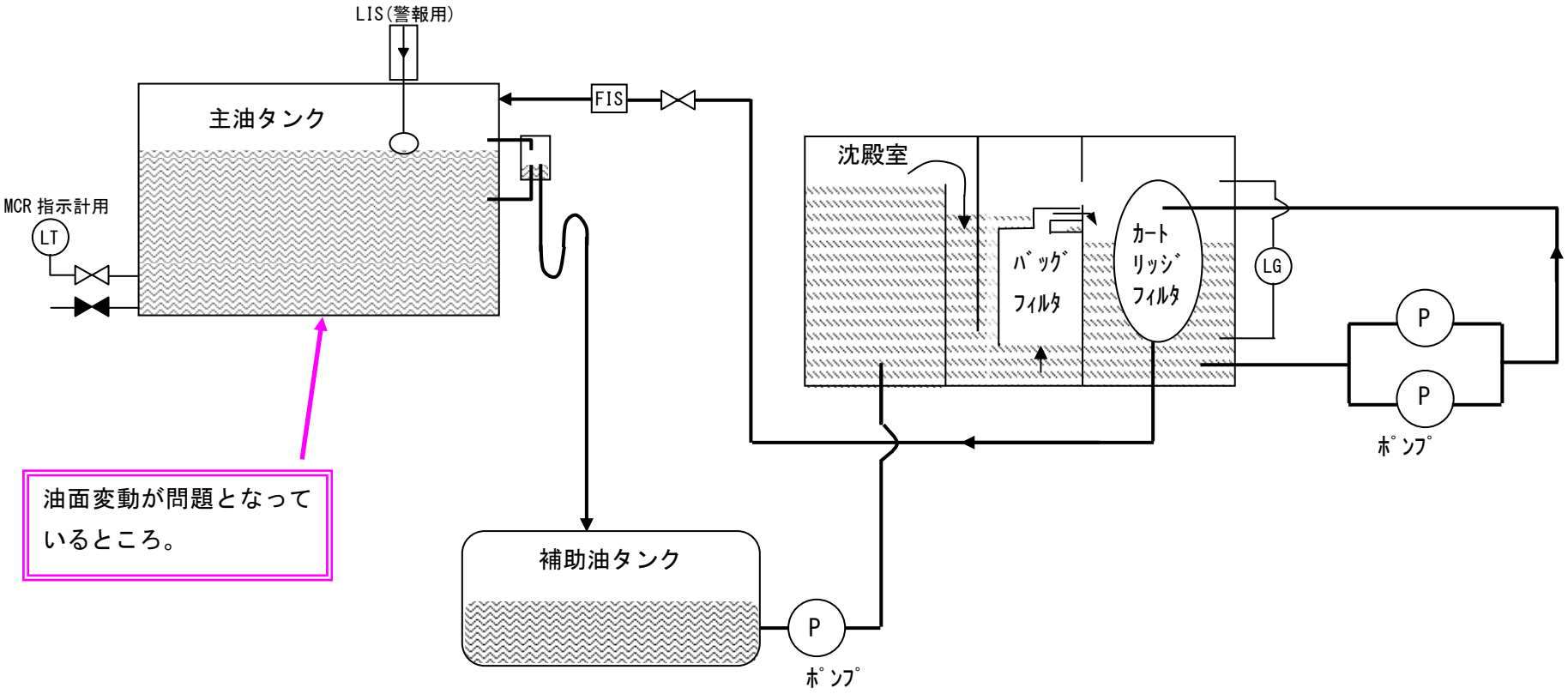
東海第二発電所　主要系統概略



*1　タービン駆動原子炉給水ポンプ（A・B）(50%×2台)
*2　電動機駆動原子炉給水ポンプ(A・B)(25%×2台)

添付資料－1

タービン油　系統概略図



添付資料２